

リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内中学校（岡山県）

【取組内容①】「協働的な学びの中でGoogle Jamboardによる思考整理を実践」

カテゴリー

「Jamboardによる思考整理」(全学年・各教科)

活用概要 Jamboardによる協働的な思考の整理は大変有効な実践です。校則改定時の全校生徒による協議場面という大きな取組でも活用できましたし、各教科の授業内における思考整理にも活用しています。

使用アプリ等 Jamboard Meet

【活用目標や工夫点、活用の流れや生徒の様子】

- 生徒会定例会等の全校オンライン協議の場では、各クラスの意見集約時に活用しました。視覚的に生徒全員の意見が表現され、自由に移動しながら整理できることで、意見の整理ができました。
- 各教科の授業内でも有効に活用しています。Jamboardを活用することで、対面では意見を出しにくい生徒も意見を表現し、話し合いに参画することが安易になっていたようです。
- Jamboardでのデジタル整理が有効なのか、付箋等を活用した同様のアナログ活動が有効なのか、そのあたりは協議テーマや生徒の実態に応じて教師が選択するか、生徒が選択していく必要があるものと思われます。
- いずれにしても、全校規模の協議ではデジタルの意見共有が有効であることは否めないと考えています。

